

## = 目 次 =

3. 西多摩地域の課題の整理	9
3-1. 上位計画、関連計画	10
3-2. 地域の現状、公共交通の現状	11
3-3. 地域現状、公共交通現状からみた課題	12
4. 基本方針(案)	15
5. 目標と施策(案)	17

# 3. 西多摩地域の課題の整理

## 3-1. 上位計画、関連計画

### 1) 総合計画

- ・利用しやすい公共交通(ダイヤ、所要時間、情報提供、交通結節点整備等)
- ・交通不便地域や高齢者等の移動困難者の移動支援
- ・バス路線の維持・確保、利用増のための取組み、タクシーの運行継続、新たな交通システムの検討

「未来の東京」戦略version up 2022(東京都)  
新しい多摩の振興プラン(東京都)  
東京都過疎地域持続的発展計画(東京都)  
第2次あきる野市総合計画  
檜原村第5次総合計画(後期)  
檜原村 第2期人口ビジョン総合戦略  
檜原村過疎地域持続発展計画  
第5期奥多摩町長期総合計画  
第2期奥多摩町まち・ひと・しごと創生総合戦略  
奥多摩町過疎地域持続的発展計画  
第5次奥多摩町行政改革大綱

### 2) 都市計画・まちづくり

- ・多様な交通モードと先端技術との組合せによる、誰もが移動しやすい交通環境の充実
- ・生活中心地や拠点集落への居住推進等
- ・公共交通の利便性向上

都市づくりのグランドデザイン(東京都)  
都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(東京都)  
集約型の地域構造への再編に向けた指針(東京都)  
あきる野市都市計画マスタープラン

### 3) 公共交通

- ・幹線系統の維持・確保に向けた課題解決、ラストワンマイルの移動手段の充実
- ・地域の実情や利用者の立場に応じた利用しやすい公共交通
- ・路線維持に向けた利用者側(住民)の協力

東京における地域公共交通の基本方針、及び未来の公共交通子どもアンケート(東京都)  
あきる野市公共交通のあり方検討報告書  
あきる野市の公共交通に関する市民アンケート調査結果  
令和元年度 奥多摩町まちづくり住民アンケート調査

### 4) 観光振興

- ・交通インフラの充実

PRIME 観光都市・東京(東京都)  
払沢の滝周辺整備改定計画(檜原村)

### 5) 福祉

- ・障がい者等の移動支援(割引、デマンド交通、福祉有償運送への支援等)
- ・誰もが利用しやすい交通機関の整備推進、ユニバーサルデザインに配慮したまちづくり
- ・子育てを支援する環境整備(公共交通のバリアフリー化)

あきる野市地域保健福祉計画  
第8期あきる野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画  
あきる野市障がい者福祉計画  
あきる野市子ども・子育て支援総合計画  
あきる野市次世代育成支援行動計画  
奥多摩町地域保健福祉計画  
奥多摩町障害者計画・第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画  
檜原村地域福祉計画【第4期】  
第8期檜原村高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画  
檜原村障害者計画 第6期檜原村障害福祉計画 第2期檜原村障害児福祉計画

### 6) 環境

- ・地球環境改善のため、公共交通利便性向上による公共交通利用転換、環境対応車両導入等

第二次あきる野市環境基本計画 改訂版  
第五次あきる野市地球温暖化対策実行計画  
奥多摩町環境基本計画  
第2次檜原村地球温暖化対策実行計画

### 7) 防災

- ・災害時の地域公共交通の確保

あきる野市地域防災計画  
あきる野市国土強靱化地域計画  
檜原村国土強靱化地域計画  
奥多摩町地域防災計画  
奥多摩町国土強靱化地域計画

### 3. 現状・課題の整理

#### 3-2. 地域の現状、公共交通の現状

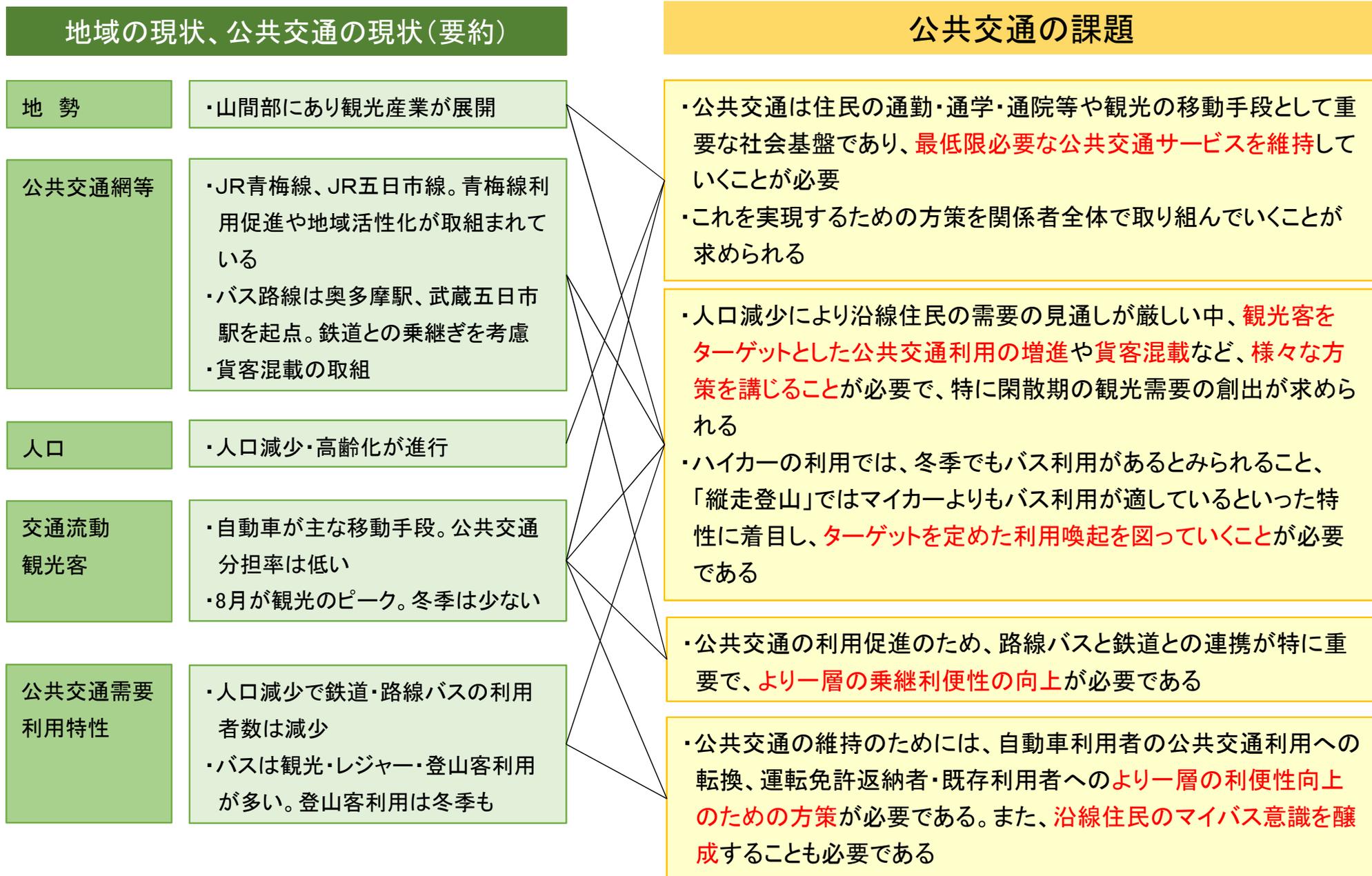
##### 地域の現状、公共交通の現状

地 勢	<ul style="list-style-type: none"><li>・対象地域は山間部が多くを占め、更にその大半が秩父多摩甲斐国立公園に指定されており、東京、首都圏の貴重な憩いの場として、多くの観光客を迎え観光産業が展開している。</li></ul>
公共交通網 各種輸送 サービスの 取組み	<ul style="list-style-type: none"><li>・対象地域には、JR青梅線、JR五日市線の2路線が乗り入れている。</li><li>・JR東日本では、青梅線の青梅～奥多摩駅間を「東京アドベンチャーライン」と称して、青梅線の利用促進や地域活性化に資する様々な取組を進めている。</li><li>・対象地域のバス路線は、奥多摩駅、武蔵五日市駅を起点に設定されている。このうち奥多摩駅を起点とする「奥09・奥10・奥12系統」と武蔵五日市駅を起点とする「五10・五18系統」の5系統は市町村を跨ぐ地域間幹線として基幹的な公共交通軸を形成し、住民の通勤・通学・通院等や観光の移動手段として重要な社会基盤となっている。</li><li>・バス路線は、概ね、鉄道との乗継ぎを考慮した運行ダイヤの設定がなされている。</li><li>・あきる野市では、交通空白地域の一部(盆堀地区)において、市と地域住民の協働による地域交通を運行し、交通手段の確保を行っている。</li><li>・檜原村ではデマンドバスやまびこが運行され、路線バスに接続し交通空白地域の移動ニーズに対応している。</li><li>・奥多摩町、檜原村では、路線バスと物流事業者が連携した「貨客混載」の取組みが始まっている。</li><li>・各市町村におけるその他の移動サービスとして、高齢者等の福祉輸送や観光輸送が実施されている。</li></ul>
人口	<ul style="list-style-type: none"><li>・人口減少や高齢化に伴い、鉄道・バス路線の利用が減少している。移住定住対策により人口減少の度合いが鈍化する効果もみられるが、今後の人口減少・高齢化により更に利用の減少が予想される。</li></ul>
交通流動 観光客	<ul style="list-style-type: none"><li>・対象地域における日常の移動では、市町村内のほか市町村外への移動が多い。</li><li>・対象地域では、自動車为主要な移動手段となっており、公共交通の分担率は低い。運転免許返納者のタクシー利用もみられる。</li><li>・観光入込客は、8月がピークで、5,11月も比較的多いが、冬季では少なく季節変動が大きい。</li></ul>
公共交通の 需要 利用特性	<ul style="list-style-type: none"><li>・鉄道の利用者数は、沿線人口の減少を背景に、徐々に減少しつつある。</li><li>・路線バス利用者数はコロナ禍の影響もあり減少傾向である。現在、コロナ前の水準には戻っていない。</li><li>・バス利用は、新緑、夏休み、紅葉の時期に多く、観光・レジャー・登山客の多さが伺える。</li><li>・雲取山をはじめとする登山口の最寄りバス停の利用が多く冬季でも利用がみられる。</li></ul>

# 3. 現状・課題の整理

## 3-3. 地域現状、公共交通現状からみた課題

### (1) 対象地域全体の公共交通の課題



# 3. 現状・課題の整理

## 3-3. 地域現状、公共交通現状からみた課題

### (2) 地域ごとの公共交通の課題

#### 1) あきる野・檜原地域

##### 地域の現状、公共交通の現状、上位・関連計画(要約)

公共交通網等	<p>鉄道</p> <p>バス</p> <p>デマンド</p> <p>その他 貨客混載</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR五日市線が乗り入れ</li> <li>・武蔵五日市駅を起点に「五10・五18系統」が地域間幹線として、住民や観光の移動手段として重要な社会基盤に。また、鉄道との乗継ぎを考慮したダイヤ</li> <li>・檜原村ではデマンドバスにより交通空白地域の移動ニーズに対応</li> <li>・高齢者等の福祉輸送や観光輸送が実施</li> <li>・貨客混載の取組</li> </ul>
人口	<p>人口</p> <p>高齢化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少・高齢化が進行。</li> <li>・今後も人口減少・高齢化の進行が予想</li> </ul>
交通流動 観光客	<p>交通流動</p> <p>移動手段</p> <p>観光需要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車が必要な移動手段。公共交通分担率は低い</li> <li>・8月が観光のピーク。冬季は少ない</li> </ul>
公共交通需要 利用特性	<p>公共交通需要</p> <p>観光需要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少で鉄道・路線バスの利用者数は減少</li> <li>・バスは観光・レジャー・登山客利用が多い。</li> </ul>
上位計画 関連計画	<p>総合計画</p> <p>まちづくり</p> <p>公共交通</p> <p>観光、福祉、環境、防災</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用しやすい公共交通、移動支援、バス路線維持・確保、ラストワンマイルの充実、利用増の取組み、住民の協力、タクシー運行継続、新たな交通システム検討</li> <li>・生活中心地等への居住推進等</li> <li>・ユニバーサルデザイン配慮、公共交通利用転換・環境対応車両導入による地球環境改善、災害時の地域公共交通の確保</li> </ul>

##### 公共交通の課題

・バスが主要な移動手段であるあきる野市西部(武蔵五日市駅以西)及び檜原村においては、**路線バスが重要な移動手段であり、その維持が必要**である

・各方面からのバス路線が集中し運行本数が多い駅近傍の区間は人口集積が比較的大きく、沿線需要を取り込む可能性のある数少ない地域であり、**沿線住民の潜在的な需要を取り込んでいくことが必要**である

・人口減少が今後とも見込まれる中、**観光需要の取込や貨客混載など取組を通じた路線の維持が必要**である

・交通空白地域の移動手段として、**デマンドバスの運行の維持、新たな交通モードの検討**が求められる

# 3. 現状・課題の整理

## 3-3. 地域現状、公共交通現状からみた課題

### (2) 地域ごとの公共交通の課題

#### 2) 奥多摩地域

##### 地域の現状、公共交通の現状、上位・関連計画(要約)

公共交通網等	鉄道 バス その他 貨客混載	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR青梅線が乗り入れ</li> <li>・奥多摩駅を起点に、「奥09・奥10・奥12系統」が地域間幹線として、住民や観光の移動手段として重要な社会基盤に。また、鉄道との乗継ぎを考慮したダイヤ</li> <li>・高齢者等の福祉輸送が実施</li> <li>・貨客混載の取組み</li> </ul>
人口	人口 高齢化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住定住対策により人口減少の度合いは鈍化したものの、人口減少・高齢化は進行</li> </ul>
交通流動 観光客	交通流動 移動手段  観光需要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車が主な移動手段。公共交通分担率は低い</li> <li>・8月が観光のピーク。冬季は少ない</li> </ul>
公共交通 需要 利用特性	公共交通 需要 観光需要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少で鉄道・路線バスの利用者数は減少</li> <li>・バスは観光・レジャー・登山客利用が多い</li> <li>・登山口最寄りバス停の利用が多く冬季も利用</li> </ul>
上位計画 関連計画	総合計画 公共交通 観光、福祉、 環境、 防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用しやすい公共交通、移動支援、バス路線維持・確保、ラストワンマイルの充実、利用増の取組み、住民の協力、タクシー運行継続、新たな交通システム検討</li> <li>・ユニバーサルデザイン配慮、公共交通利用転換・環境対応車両導入による地球環境改善、災害時の地域公共交通確保</li> </ul>

##### 公共交通の課題

- ・バスが主要な移動手段である町西部(奥多摩駅以西)において、**路線バスが重要な移動手段であり、その維持が必要**である
- ・人口定着のため、日常生活を支える路線バスの維持が必要である

- ・人口減少が今後とも見込まれる中、**観光需要の取込や貨客混載など取組を通じた路線の維持が必要**である

- ・新たな交通システムの検討など、**バスを補完する交通手段の検討**が求められている

## 4. 基本方針(案)

### あきる野・檜原地域

#### 公共交通の課題

・公共交通は住民の通勤・通学・通院等や観光の移動手段として重要な社会基盤であり、**最低限必要な公共交通サービスを維持**していくことが必要

・より一層の利便性向上のための方策が必要  
・沿線住民の**マイバス意識**を醸成  
・**ターゲットを定めた観光利用喚起**

・バスが主要な移動手段であるあきる野市西部及び檜原村においては、**路線バスが重要な移動手段**であり、**その維持が必要**

・バス路線の運行本数が多い駅近傍の区間は人口集積が比較的大きく、**沿線住民の潜在的な需要を取り込んでいくことが必要**

・人口減少が今後とも見込まれる中、豊富な観光資源を活かした**観光需要の取込**や様々な利用促進、**貨客混載など取組を通じた路線の維持が必要**

・交通空白地域の移動手段として、**デマンドバスの運行の維持、新たな交通モードの検討**が求められる

#### 基本方針

路線バス及び地域のニーズを軸とした地域公共交通サービスの維持・確保



※「路線バス」: 地域間幹線系統を含むバス路線全てを指す

※「地域のニーズ」: 交通空白地域における移動ニーズに対応した交通手段(デマンドバス等フィーダー交通)を指す

## 4. 基本方針(案)

### 奥多摩地域

#### 公共交通の課題

- ・公共交通は住民の通勤・通学・通院等や観光の移動手段として重要な社会基盤であり、**最低限必要な公共交通サービスを維持**していくことが必要
  - ・より一層の利便性向上のための方策が必要
  - ・沿線住民のマイバス意識を醸成
  - ・ターゲットを定めた観光利用喚起
- ・バスが主要な移動手段である町西部(奥多摩駅以西)において、**路線バスが重要な移動手段**であり、**その維持が必要**
- ・人口減少が今後とも見込まれる中、豊富な観光資源を活かした**観光需要の取込**や様々な利用促進、**貨客混載**など取組を通じた**路線の維持が必要**
- ・新たな交通システムの検討など、**バスを補完する交通手段の検討**が求められている

#### 基本方針

路線バスを軸とした地域公共交通サービスの維持・確保



※「路線バス」: 地域間幹線系統を含むバス路線全てを指す

## 5. 目標と施策(案)

### あきる野・檜原地域

#### 目標

##### ①路線バス運行の維持・確保

住民の生活維持及び観光の移動手段として、最低限必要な路線バス運行の維持・確保を実現するための方策を、関係者全体で取り組んでいく

##### ②交通空白地域における移動手段の確保

交通空白地域において、住民の生活維持に必要な移動ニーズに対応した移動手段について確保・維持していく

##### ③観光振興と連携した公共交通の推進

関係機関と連携し、観光需要の創出・取込のための方策を、関係者全体で取り組んでいく

#### 施策案

##### ①路線バスの利便性向上に資する取組/新たな取組の推進

- ・ダイヤ改正、円滑なJR線接続及びモビリティ・マネジメント等により、より一層利用者が使いやすい路線バス運行を実現
- ・貨客混載事業等の推進
- ・環境対応車両の導入(環境改善や公共交通の利用促進の観点から)

##### ②交通空白地域における移動手段の確保の取組

- ・デマンドバス等フィーダー交通の充実

##### ③観光振興と連携した公共交通事業の取組

- ・行楽シーズン等の臨時バス便
- ・関係者で連携した公共交通利用のPR実施

ほか

## 5. 目標と施策(案)

### 奥多摩地域

#### 目標

##### ①路線バス運行の維持・確保

住民の生活維持及び観光の移動手段として、最低限必要な路線バス運行の維持・確保を実現するための方策を、関係者全体で取り組んでいく

##### ②きめ細やかな移動ニーズに対応した移動手段の確保

公共交通機関の不足を補う、様々な交通手段の確保のための方策に取り組んでいく

##### ③観光振興と連携した公共交通の推進

関係機関と連携し、観光需要の創出・取込のための方策を、関係者全体で取り組んでいく

#### 施策案

##### ①路線バスの利便性向上に資する取組/新たな取組の推進

- ・ダイヤ改正、円滑なJR線接続及びモビリティ・マネジメント等により、より一層利用者が使いやすい路線バス運行を実現
- ・貨客混載事業等の推進
- ・環境対応車両の導入(環境改善や公共交通の利用促進の観点から)

##### ②きめ細やかな移動手段の確保の取組

- ・タクシーや福祉目的の移動手段等の充実

##### ③観光振興と連携した公共交通事業の取組

- ・行楽シーズン等の臨時バス便
- ・関係者で連携した公共交通利用のPR実施

ほか